



九代目会長就任にあたって

副会長 吉田 健治



先日の藤野地区町内会連

合会平成二十九年度定期総会におきまして、会長の大役を仰せつかりました。

顧みますと、藤野地区は昭和四十四年に、当時の四町内会が連絡協議会を結成して以来まもなく五十年が経とうとしております。

その頃の札幌は、冬季オリンピックの開催を控え、最も人口増加の激しい時でありましたから、藤野地区も同様に、住宅建設に湧き立ったことでありました。

人口も一気に増え、当時の町内会活動に携わった先輩の方々は、インフラ（公共施設）の整備や、行き届かない環境の改善にご苦労

されたに違いありません。

五十年近くを経た現在、当時若者といわれた人々も老年期に入り、藤野地区は市内でも高齢化の最も進んだ地域となり、その影響で各町内会も、活動者の高齢化と担い手不足が大きな課題となっております。

私は、仕事などを退いての高齢期は、自分の住居のある地域での生活が中心になると思い、その地域が高齢の人にとって住みやすく、生きがいを感じながら毎日を過ごせる状況を作ることこそが、これからの町内会活動の目的と捉え、活動してきました。

そのために町内の人々が交流できる場をたくさん企画し実行してきました。交流の行事を通じて同じ町内に多くの知人、友人ができ、高齢期特有の孤立や不安感が少しでも解消できればと考えたからです。

近隣の人たちとの意思の

疎通が深まれば、万が一の災害などの場合も、住民力持つ効果は大いに期待できるものと思えます。

藤野地区には十九の町内会があり、それぞれがその運営に努力を重ねています。連合会としては、それぞれの町内会活動が、効率よく円滑に実施できるための連携の場だと考えています。

無論、藤野地域に住む人々の一体感を高めるための行事も大切であり、藤野ふるさとまつりに雪中運動会や文化展、さらには将来の主人公になる子どもたちの考えをくみ取るための藤野子ども会議等々も確実に実行しなければなりません。

藤野では「まちづくりビジョン」の中で「花と緑、文化と福祉のまち」を目指し、みんなが「藤野に住んでよかった」と思えるまちづくりに取り組んでいます。本年度も、十九の町内会の皆さんと大いに意見交換を重ね目標に向かって進んでまいります。

皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

平成二十九年度藤野地区定期総会
「花とみどり・文化と福祉のまち藤野」
 ～藤野地区まちづくりビジョンを基本理念に～

平成二十九年度の藤野地区町内会連合会の定期総会が五月七日(日)十三時より藤野地区センターアリーナで、各単町の代議員、町連理事、役員が参加して行われた。町連会長寺田良男氏の挨拶のあと、藤野団地自治会の粕谷勉氏を議長に選出し議案の審議に入った。

議案第一号

平成二十八年度事業報告(重点目標の実施状況報告)概要、個別具体的内容、各部門別実施状況報告について

議案第二号

平成二十八年度収支決算報告

①藤野地区町内会連合会一般会計報告(別掲)

②特別積立金・別途基金について

③第二十六回藤野ふるさとまつり会計

④藤野太鼓保存会会計

①②③について堀会計部長より、④について鉛谷氏よりそれぞれ報告がされた。

平成二十八年度監事監査報告 伊藤監事から監事監査報告がされた。

議案第一号、第二号まで一括して全員の拍手で承認された。

議案第三号

平成二十九年度事業計画(案)

議案第四号

平成二十九年度収支予算(案)

①藤野地区町内会連合会一般会計

②第二十七回藤野ふるさとまつり予算

③藤野太鼓保存会会計

④単位町内会助成金等明細案どおり承認された。

議案第五号
 役員選任について
 本年度が役員改選の年にあたり、新会長に野々沢町内会に会長吉田健治氏、総務部長に八重崎泰則氏等を選出(役員名簿は三ページに掲載)、承認された。
 議長退任後、新旧役員紹介があり、総会は閉会した。



**平成二十九年度
 事業計画**

重点目標

概要

前年度に引き続き「藤野地区まちづくりビジョン」に掲げる基本理念を根底にして、花とみどり・文化と福祉のまち藤野をまちづくり指針に掲げ、七項目の目標と課題に取り組み、組織一丸となって活動すること

により「住んでよかった藤野」のまちづくりに邁進する。
 野新年交礼会を企画し、開催する。
 七、藤野地域に根ざした伝統と文化を守るため、藤野音頭、藤野太鼓の普及に務め、文化展を開催し、文化のまちとして向上を図る。
 八、高齢化、少子化等に対応するため、各種行政機関や藤野地区社会福祉協議会等と連携し、社会福祉活動の充実強化を図り福祉のまちとしての一層の向上を図る。
 九、定山溪沿線町内会連絡協議会の一員として、沿線地域課題への積極対応を行う。

総務部

一、藤野地区まちづくりビジョンの具現化に向けた事業の推進と関係機関との調整を図る。

二、会報「ルピナス」の充実により藤野地域の情報発信に努め、各単町間の情報交換をいっそう緊密にし、各町内会活動の活性化と充実に努める。

三、総会のほかに必要に応じ四役会、理事会、役員会、専門部役員会等各種会議を開催する。

四、平成三十一年度を迎えることとなる「藤野地区町内会連合会創立五十周年」に向けて、記念行事等を検討する。

五、藤野地区各単町の連携を深め、住民の一体感を一層高めるため、第二十七回藤野ふるさとまつりを実施する。会場を十五島公園と変更する。

六、平成三十年ふるさと藤

野

各部門別個別活動計画

会計部

一、町連会計業務全般、会計監査への対応。

広報部

一、会報「ルピナス203」の発行。ふるさとまつりチラシ作成。

福祉部

一、高齢者を励ます活動、敬老メッセージを作成贈呈する。

二、福祉部長・民生・児童

委員合同情報交換会の開催。

三、地区社協ほか関係諸団体との連携、協力、支援。

地域安全部

一、交通安全運動街頭啓発の実施。

二、単町地域安全担当者研修会の開催。

三、少年消防クラブBFCC「ふじの」活動への補助。

四、南警察署生活安全課と調整しながら防犯パトロールの実施。

体育部

一、年少少女ドッジボール大会の実施。

二、藤野地区パークゴルフ大会の実施。

三、雪中運動会の実施。

青少年部

一、ふるさとふじの子ども会議の開催。

二、鑑賞会の開催。

三、新春書初め会の開催。

四、かるた大会の開催。

女性部

一、ガン検診の督励。

二、リーダー研修。

三、講習・研修会。

交通安全街頭啓発・新入学児童の啓発。
五、南区社会福祉協議会、共同募金会、定山溪沿線協。 文化部長 寺田良男

感謝状贈呈式

この日、新しく南区長になられた佐藤達也氏から左記の方々に地域功労者として感謝状が贈呈された。

受賞者 札幌市長表彰 寺田良男

前藤野公園町内会 会長



環境部

一、環境部長会議の開催。

二、クリーンさつぽろ推進協議会役員研修会・役員会等への参加。

三、フラワーガーデンング展の開催。(花愛好会との共催)

四、秋の園芸講習会の開催。

五、花いっぱい運動の推進。

岩崎 耐輝

前高台町内会 会長

佐藤 順一

前白川町内会 会長

南区長表彰 小島 國男

前藤野第二町内会 保安部長

渡邊 哲丞

前藤野三区町内会 会館運営部長

佐藤 保男

前野々沢町内会 会計部長

山川 利勝

前藤野公園町内会 副会長

松中 秀夫

前藤野公園町内会 副会長

工藤 祐一

前藤野公園町内会 保健体育部長

小野寺アリサ

前藤ヶ丘南町内会青少年部長

平成二十九年 藤野地区町内会連合会役員

相談役 田中 義一 (本通)

大高喜代一 (第二)

寺田 良男 (藤野公園)

会長 吉田 健治 (野々沢)

副会長 石村 勇雄 (十五島)

星野 数夫 (藤野南)

仙北 英治 (本通)

監事 山形 博 (富士見)

亀井 光一 (白樺)

澤田 暁子 (第一)

理事 菅野 暁子 (第一)

船越 盛正 (三区)

飯森 禮子 (富士見)

石山 神日 (緑町)

田中 一男 (中央)

常見 信代 (高台)

是安 恒夫 (高見台)

清水 生彦 (白樺)

阿部 秀樹 (藤野公園)

小田 勝義 (西藤野)

岡村 賢美 (白川)

佐藤 悦子 (藤野西)

船橋 廣光 (藤野西)

阿部 孝司 (東藤野)

八重崎 泰則 (藤野南)

堀 武 (本通)

総務部 佐藤 英之 (十五島)

会計部 佐藤 英之 (十五島)

福祉部 曾我部久和 (東藤野)

地域委 清野 昭一 (白樺)

関根 誠 (十五島)

大熊 成子 (十五島)

角本 稔 (十五島)

体育部 宮里 紀詮 (十五島)

眞保 和子 (野々沢)

加賀谷 昇 (第一)

青少年部 大越 龍幸 (野々沢)

女性部 河野 秋子 (西藤野)

伊藤 洋子 (十五島)

齊道 弘子 (野々沢)

弘津真理子 (藤野南)

文化部 伊東 慶子 (野々沢)

鮎谷加奈男 (藤野西)

環境部 古川 和夫 (第二)

八幡 忠幸 (三区)

中川 隆 (本通)

第27回 藤野ふるさとまつり

日時 平成29年8月5日(土) 13時~18時 (物品販売は11時から20時まで) 雨天の場合翌日6日(日) 会場 十五島公園 例年とは会場が変更になります。

平成28年度 藤野地区町内会連合会一般会計決算書

期間 28.4.1～29.3.31

収入の部

(単位 円)

科 目	28年度予算額	28年度決算額	増 減	摘 要
繰越金	868,307	868,307	0	
町連会費	1,674,250	1,674,250	0	6,697世帯×250円(1世帯減)
市等からの助成金	2,918,310	2,959,635	41,325	
地域振興 町連	759,700	759,700	0	算定基準による世帯割100円、均等割9万円(住民組織 助成金)
地域振興 単町	1,308,610	1,308,610	0	6,697世帯×130円+基準割額(住民組織 助成金)
地域ふれあい事業等	850,000	831,325	△ 18,675	南区地域ふれあい事業助成金、ふるさとまつり
防災活動支援事業	0	60,000	60,000	3町内会
募金交付金	120,000	122,188	2,188	
雑収入	670,000	694,431	24,431	広告料17万円、会費35万円、日赤4万円、預金利息1万円、コピー等12万円
その他収入	660,000	780,000	120,000	社協使用料48万円、事務所借上補助18万円、パソコン購入補助12万円
合 計	6,910,867	7,098,811	187,944	

支出の部

科 目	28年度予算額	28年度決算額	増 減	摘 要
諸経費	2,520,000	2,467,196	△ 52,804	
事務費	550,000	441,256	△ 108,744	事務用品(文具消耗品・コピー用紙・雑費)、通信費、印刷費、他
交通費	80,000	60,000	△ 20,000	各種行事参加交通費(会長、副会長、総務部長、会計部長等)
総会・新年会費	440,000	429,181	△ 10,819	総会、懇親会14万円、新年交礼会29万円、関連諸経費
会議費	100,000	99,094	△ 906	理事会、役員会、部長会、その他諸会議、会場費
慶弔費	30,000	20,000	△ 10,000	慶弔諸費用
渉外費	220,000	220,000	0	会長、副会長の各種行事参加活動費
団体負担金	210,000	193,901	△ 16,099	防火2万円、防犯2.6万円、クリーンさっぽろ1.9万円、沿線協議会6.6万円、その他6.3万円
その他経費	890,000	1,003,764	113,764	賃借料72.8万円、損保3万円、除雪代街路灯電気料5万円、パソコン購入19万円他
事業費	2,008,000	1,796,589	△ 211,411	
総務部費	70,000	33,642	△ 36,358	総務諸経費(情報委員会含)
広報部費	480,000	471,212	△ 8,788	ルピナス発行3回、印刷他編集・取材費等
体育部費	210,000	184,976	△ 25,024	スポーツ・レクリエーション活動(ドッジボール、雪中運動会、PG、登山会等)
青少年部費	210,000	200,031	△ 9,969	ふるさと ふじの子ども会議4万円、鑑賞会11万円、書初め会2万円、他
女性部費	178,000	175,154	△ 2,846	地区行事、交通安全推進、交通安全母の会
福祉部費	70,000	62,609	△ 7,391	社協との協力、支援等
地域安全部費	170,000	153,336	△ 16,664	地域安全活動(交通安全、防犯、防災、青色回転灯)10万円、少年消防クラブ5万円
文化部費	100,000	79,848	△ 20,152	地域文化展、写真展・藤野文化の伝承 等 関連経費
環境部費	120,000	112,665	△ 7,335	環境清掃、クリーンさっぽろ、花いっぱい運動(花の実技研修・ガーデニング)
ふるさとまつり事業費	400,000	323,116	△ 76,884	事業費の負担増に伴う助成金(日赤4万円含)
地域振興 単町 助成金	1,308,610	1,308,610	0	住民組織助成金
募金交付金	95,000	94,193	△ 807	日赤・共同募金活動交付金(単町への配分)
防災活動支援事業助成	0	60,000	60,000	本通、十五島、藤ヶ丘西
備品積立	300,000	300,000	0	2か年分
小 計	6,231,610	6,026,588	△ 205,022	
予備費	679,257	0	△ 679,257	
繰越金(預金・現金)	0	1,072,223	1,072,223	JA275,717、北門信金321,881、ふれあい助成金474,625
合 計	6,910,867	7,098,811	187,944	

平成29年度 藤野地区町内会連合会一般会計予算書

期間 29.4.1～30.3.31

収入の部

(単位 円)

科 目	28年度決算額	29年度予算額	増 減	摘 要
繰越金	868,307	1,072,223	203,916	
町連会費	1,674,250	1,672,250	△ 2,000	6,689世帯×250円(1世帯減)
市等からの助成金	2,959,635	2,896,470	△ 63,165	
地域振興 町連	759,700	758,900	△ 800	算定基準による世帯割100円、均等割9万円(住民組織 助成金)
地域振興 単町	1,308,610	1,307,570	△ 1,040	6,689世帯×130円+基準割額(住民組織 助成金)
地域ふれあい事業等	831,325	830,000	△ 1,325	南区地域ふれあい事業助成金、ふるさとまつり
防災活動支援事業	60,000	0	△ 60,000	
募金交付金	122,188	120,000	△ 2,188	日赤募金交付金、共同募金交付金
雑収入	694,431	670,000	△ 24,431	広告料16万円、会費35万円、日赤4万円、預金利息1万円、コピー等11万円
その他収入	780,000	660,000	△ 120,000	社協使用料48万円、事務所借上補助18万円
合 計	7,098,811	7,090,943	△ 7,868	

支出の部

科 目	28年度決算額	29年度予算額	増 減	摘 要
諸経費	2,467,196	2,680,000	212,804	
事務費	441,256	660,000	218,744	事務用品(文具消耗品・コピー用紙・雑費)、通信費、印刷費、コピー機リース代16万円
交通費	60,000	80,000	20,000	各種行事参加交通費(副会長、総務部長、会計部長等)
総会・新年会費	429,181	440,000	10,819	総会、懇親会14万円、新年交礼会30万円、関連諸経費
会議費	99,094	150,000	50,906	理事会、役員会、部長会、その他諸会議、会場費
慶弔費	20,000	30,000	10,000	慶弔諸費用
渉外費	220,000	220,000	0	会長、副会長の各種行事参加活動費
団体負担金	193,901	210,000	16,099	防火2万円、防犯2.6万円、クリーンさっぽろ1.9万円、沿線協議会6.6万円、他7.9万円
その他経費	1,003,764	890,000	△ 113,764	賃借料72.8万円、損保3万円、除雪代街路路灯電気料13万円
事業費	1,796,589	2,170,000	373,411	
総務部費	33,642	70,000	36,358	総務諸経費(情報委員会含)
広報部費	471,212	490,000	18,788	ルピナス発行3回、印刷他編集・取材費等
体育部費	184,976	210,000	25,024	スポーツ・レクリエーション活動(ドッチボール、雪中運動会、PG、登山会等)
青少年部費	200,031	230,000	29,969	ふるさと ふじの子ども会議4万円、鑑賞会14万円、書初め会2万円、かるた会2万円
女性部費	175,154	180,000	4,846	地区行事、交通安全推進、交通安全母の会
福祉部費	62,609	200,000	137,391	社協との協力、支援等
地域安全部費	153,336	170,000	16,664	地域安全活動(交通安全、防犯、防災、青色回転灯)12万円、少年消防クラブ5万円
文化部費	79,848	90,000	10,152	地域文化展、写真展・藤野文化の伝承 等 関連経費
環境部費	112,665	130,000	17,335	環境清掃、クリーンさっぽろ、花いっぱい運動(花の実技研修・ガーデニング)
ふるさとまつり事業費	323,116	400,000	76,884	事業費の負担増に伴う助成金(日赤4万円含)
地域振興 単町 助成金	1,308,610	1,307,570	△ 1,040	住民組織助成金
募金交付金	94,193	95,000	807	日赤・共同募金活動交付金(単町への配分)
防災活動支援事業助成	60,000	0	△ 60,000	
備品積立	300,000	0	△ 300,000	2か年分
小 計	6,026,588	6,252,570	225,982	
予備費	0	838,373	838,373	
繰越金(預金・現金)	1,072,223	0	△ 1,072,223	
合 計	7,098,811	7,090,943	△ 7,868	

交通安全を願って

町連女性部

四月六日(木)藤野地区の小学校(藤の沢小・藤野小・藤野南小)で入学式が行われた。町連女性部では新入学児童の交通事故防止を願い、各小学校で登校し



てきた新一年生に、「入学おめでとう」「交通事故に気をつけて」と呼びかけ、入学祝い品をプレゼント、交通安全啓発活動を行った。
また、藤野町連地域安全部では、年に四回の国道二一〇号線まちづくりセンター周辺で交通安全街頭啓発を行う。



藤野まちづくりセンター

所長 那須野 祐一

藤野地区の皆様、初めまして。今年の四月一日付人事異動により、藤野まちづくりセンター所長に着任しました。

札幌市で生まれ育った私が抱く南区、そして藤野の印象は、豊かな自然と、ウインタースポーツをはじめとする教育・文化の薫る活気あるまちでした。

野に住んでよかった」と思えるまちづくりを目指し、熱い思いで様々な事業に取り組んでおられる様子が感じられます。
私も皆様と一緒に汗をかきながら、ルピナスの花言葉である「想像力」を発揮して、藤野地区のさらなる発展のため努力してまいりますので、よろしくお願います。

退任のあいさつ



前会長 寺田 良男

平成十七年四月から町内会連合会理事として、十二年間にわたり係わらせていただきました。その間、平成二十一年四月、町連会長田中義一様から大高喜代一様へとバトンタッチされると同時に、副会長に任命され、一昨年の定期総会において、更に大役である会長の要職を皆様方のご推薦をいただき、引き受けることとなりました。そして、この二カ年間、町連の理事及び役員の皆様方のお力添えをいただきながら、どうか終着点にたどり着けたと安堵しています。ありがとうございました。会長職

は、大高会長の退任時挨拶のとおりで、曆とにらめっこしながらの毎日でした。二日に一回の割合での執務状態であったより大変で、多忙な日々の連続でしたので、アッ!という間の二カ年だったと回想しています。過去八年間の副会長、会長としての任務を続けてこられましたのも皆様方のご支援、ご協力をいただいたお陰でございます。改めて深く感謝申し上げます。厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。
結びに、町内会連合会の益々の発展を心より祈るとともに、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。退任の挨拶といたします。

編集後記

町連定期総会が開かれ、事業報告、二十九年度の事業計画、役員改選が行われた。吉田新会長を中心に町連の活動がはじまる。

今年の藤野ふるさとまつりは、十五島公園で開催される。藤野地区の公共の施設を使っての開催、商工会を中心に新しい試みがあるらしい。期待したい。

平成三十一年には「藤野地区町内会連合会創立五十年」を迎える。

インターネットやスマートフォンなどで、情報がすばやく発信される時代になったが、新聞などの紙媒体も大切な情報源だ。役員の変更で、広報部も人事一新、新たな紙面が展開されると思われる。(M)



ルピナス第九八号
平成二十九年六月十日発行
発行人 吉田 健治
編集人 佐藤 英之
森永 和雄
生出 隆亮
定塚 彰
印刷所 札幌大同印刷(株)
連絡先 五九二一四九三〇(佐藤)